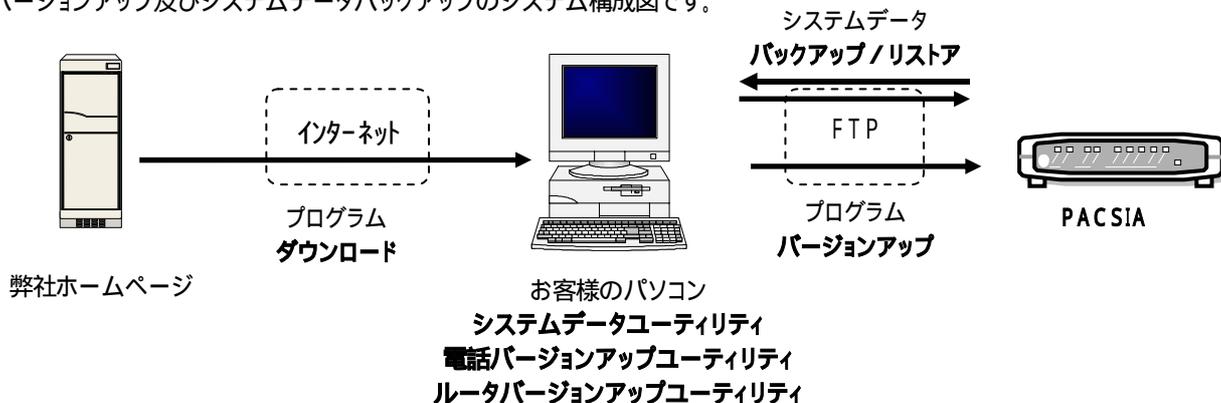


PACSLA バージョンアップ手順書

PACSLA のファームウェア(基本ソフトウェア)をバージョンアップすることにより、最新の機能をご利用になります。ファームウェアには電話機能とルータ機能の 2 種類のプログラムがあり、それぞれ別々にバージョンアップを行います。ファームウェアをバージョンアップする前に、必ずシステムデータのバックアップを行ってください。

1 システム構成

バージョンアップ及びシステムデータバックアップのシステム構成図です。



2 バージョンアップの手順

ファームウェアのバージョンアップは以下の手順で行います。

- 1 バージョンアップの準備
- 2 システムデータのバックアップ
- 3 ルータファームウェアのバージョンアップ
- 4 電話ファームウェアのバージョンアップ
- 5 バージョンアップの確認
- 6 システムデータのリストア(復元)

(全ての手順を行うのにかかる時間は、約30分です。)

(1) バージョンアップの準備

1-1 現在のファームウェアのバージョンを確認します。

WWW ブラウザで PACSLA 主装置の IP アドレス(初期値は<http://192.168.1.1>)にアクセスし、データ設定画面を開きます。

データ設定画面「PACSLA メインメニュー」下部のバージョン情報が、V3.00 または V3.10 となっていることを確認します。

V3.00 または V3.10 以外のバージョンの PACSLA は、V 3.11 へのバージョンアップができませんので、ご注意ください。

バージョン		MACアドレス	
V3.10	電話機プログラム	LAN	XX-XX-XX-XX-XX-XX
V3.10	ルータプログラム	WAN	XX-XX-XX-XX-XX-XX

- 1-2 データ設定画面内で、「ルータの詳細設定 - 設定開始 - FTP」の順にクリックし、FTP ログインを「する」に設定し、任意のログイン名とパスワードを設定します。(例) ログイン名:pacsia2 パスワード:ftp

設定項目	設定値
FTPログイン	<input checked="" type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない
ログイン名	pacsia2
新しいパスワード	*****
確認のため再入力	*****

- 1-3 データ設定画面内で「設定データ保存」をクリックし、「保存」をクリックします。

1-4 システムデータユーティリティ、ルータバージョンアップユーティリティ、電話バージョンアップユーティリティを、弊社ホームページからお客様のパソコンのデスクトップなどにダウンロードします。

- 1-5 ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

バージョンアップに必要ないくつかのファイルが自己解凍されます。

(注意)readme.txtが添付されている場合は、よく読んでから、手順に従ってください。

(2) システムデータのバックアップ

- 2-1 パソコンからシステムデータユーティリティにより、主装置のシステムデータをパソコンに保存します。「システムデータユーティリティ」の使い方については、<注1>を参照してください。

(3) ルータファームウェアのバージョンアップ

- 3-1 パソコンからルータバージョンアップユーティリティにより、ルータファームウェアをバージョンアップします。router フォルダ内のPacsia.exeを実行します。「プログラムアップロードユーティリティ」の使い方については、<注2>を参照してください。(ファームウェアのアップロードには約2分かかります。正常に終了すると、完了メッセージが表示されます。)
- 3-2 アップロードが正常に終了したら、主装置の電源をOFFにします。
- 3-3 主装置の電源をONにします。(ファームウェアの書き換えが実行されている間、LEDランプが点滅します。プログラムの書き換えには約2分かかります。)

(4) 電話ファームウェアのバージョンアップ

- 4-1 パソコンから電話バージョンアップユーティリティにより、電話ファームウェアをバージョンアップします。business フォルダ内のPacsia.exeを実行します。「プログラムアップロードユーティリティ」の使い方については、<注2>を参照してください。(ファームウェアのアップロードには約1分かかります。正常に終了すると、完了メッセージが表示されます。)
- 4-2 アップロードが正常に終了したら、主装置の電源をOFFにします。
- 4-3 主装置の電源をONにします。(プログラムの書き換えが実行されている間、LEDランプが点滅します。プログラムの書き換えには約3分かかります。)

(5) バージョンアップの確認

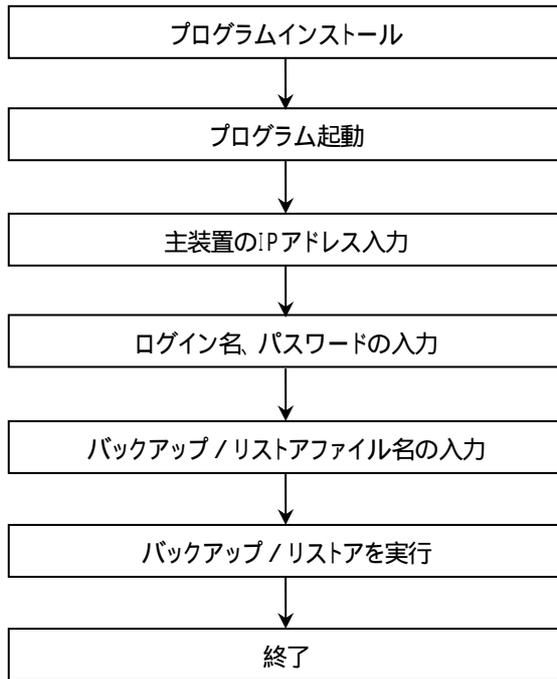
- 5-1 ファームウェアのバージョンが新しくなっていることを確認します。
データ設定画面「PAC SIAメインメニュー」の下部バージョン情報を確認します。電話機プログラム、ルータプログラムとも、V3.11になっていない場合は、バージョンアップに失敗しているため、手順(3)から再度実行してください。

(6) システムデータのリストア(復元)を行う。

- 6-1 パソコンからシステムデータユーティリティにより、手順(2)でパソコンに保存したシステムデータを主装置にリストアします。「システムデータユーティリティ」の使い方については、<注1>を参照してください。
- 6-2 データ設定画面内で、「ルータの詳細設定 - 設定開始 - 設定データ保存」の順にクリックし、「保存」をクリックします。(保存結果が表示されない場合は、1分ほど待ってから、再度「保存」をクリックしてください。)
- 6-3 主装置の電源をいったんOFFにしてから、再びONにします。

<注1 システムデータユーティリティの使い方>

システムデータユーティリティを使用する場合の操作方法です。



pacsysut フォルダ内の、 setup.exe を実行します。
画面の指示に従って、インストールします。

スタート - プログラム - PACSIA システムデータ
ユーティリティ - PACSIA システムデータユーティリティ
の順にクリックします。

初期値は 192.168.1.1 です。

手順 1-2 で設定したログイン名、パスワードを
入力します。

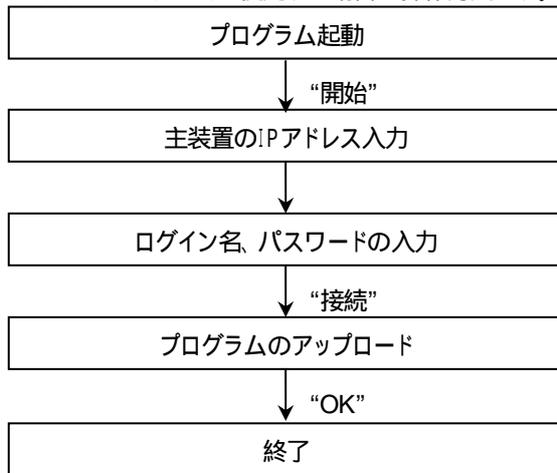
バックアップデータの保存先を指定します。

バックアップするときは「受信」を、リストア(復元)する
ときは「送信」をクリックします。

バックアップ後は、いったんユーティリティを
終了してください。

<注2 バージョンアップユーティリティの使い方>

バージョンアップユーティリティを使用する場合の操作方法です。



初期値は 192.168.1.1 です。

手順 1-2 で設定したログイン名、パスワードを
入力します。

3 必要なパソコンの仕様

システムデータユーティリティとバージョンアップユーティリティが動作するパソコンの仕様は以下のとおりです。

PC 本体		
Windows 版	OS	Microsoft Windows 98 SecondEdition、Windows Me、Windows2000、WindowsXP
	CPU	Intel Pentium 以上